【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第４区分
【発行日】平成17年8月4日(2005.8.4)

【公開番号】特開2003-233920(P2003-233920A)
【公開日】平成15年8月22日(2003.8.22)
【出願番号】特願2002-31427(P2002-31427)
【国際特許分類第７版】
　Ｇ１１Ｂ　7/09
　Ｇ０１Ｃ　9/06
【ＦＩ】
　Ｇ１１Ｂ　7/09　E
　Ｇ０１Ｃ　9/06　A

【手続補正書】
【提出日】平成17年1月11日(2005.1.11)
【手続補正１】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】特許請求の範囲
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
　支持軸を中心に回動自在なガルバノミラーを有する可動部に光を投射する光源と、
前記可動部の反射面からの反射光を受光し前記ガルバノミラーの傾き量を検出する傾き量検出手段と、
ミラー面に垂直な方向の前記ガルバノミラーの移動量を検出する移動量検出手段とを備えたことを特徴とする傾きセンサー装置。
【請求項２】
　前記移動量検出手段は、前記光を分離させる第１、第２のホログラムを有し、前記第２のホログラムは前記光を分離し、その±１次光を前記反射面に集光させて、その反射光を前記第１のホログラムに入射させ、前記第１のホログラムで分離した＋１次光、－１次光をそれぞれ第２の光検出器、第３の光検出器に受光し、前記第２の光検出器、及び前記第３の光検出器の出力を演算し、前記移動量を検出することを特徴とする請求項１に記載の傾きセンサー装置。
【請求項３】
　前記移動量検出手段は、前記光を分離させるホログラムを有し、前記ホログラムは前記光を分離し、その＋１次光、－１次光が前記反射面を反射して、それぞれ第２の光検出器、第３の光検出器に受光し、前記第２の光検出器、及び前記第３の光検出器の出力を演算し、前記移動量を検出することを特徴とする請求項１に記載の傾きセンサー装置。
【請求項４】
　前記光源はＬＤ（レーザダイオード）であり、
前記移動量検出手段は、前記反射面を反射した光が前記ＬＤに入射して、前記ＬＤの出射光量を変化させ、その変化量を検出することにより、前記移動量を検出することを特徴とする請求項１に記載の傾きセンサー装置。